



興正菩薩坐像

## 叡尊と一門の名宝 — 奈良西大寺展 —

理事長 辻村泰範

法人の基本理念として掲げている「興法利生（こうほうりしよ）」は、鎌倉時代に戒律を保つことの重要性を説き、困窮している人々の救済活動を実践して奈良の仏教を復興することに大活躍をされた興正菩薩叡尊上人のお言葉です。

興正菩薩とその弟子忍性菩薩はともに荒廃した時代に今でいう社会福祉事業を広く展開し、日本の社会福祉事業の先駆者として高く評価されています。

奈良時代に孝謙天皇（聖武天皇の妃であった光明皇后の娘）の勅願によって建立された西大寺は、東大寺に並び立つ官の大寺でしたが都が京都に遷都した後はすっかり荒れ果てていました。鎌倉時代になってこの西大寺を復興されたのが興正菩薩であり、西大寺だけでなく多くの奈良の寺院を復興されたのです。興正菩薩も忍性菩薩も奈良を拠点とするだけでなく鎌倉幕府に招かれて関東地方でも積極的な社会活動を展開されたことでも有名です。

七月二十九日から九月二十四日にかけて、あべのハルカス美術館で奈良西大寺展が開催されます。「叡尊と一門の名宝」と銘打ったこの展覧会では、国宝の興正菩薩坐像や浄瑠璃寺の秘仏吉祥天女像、元興寺の聖徳太子立像、般若寺の文殊菩薩騎獅像等々多くの国宝、重要文化財を含む西大寺と一門の名宝が四半世紀ぶりに一挙公開されます。是非機会を作って拝観されることをお勧めします。

# ご存知ですか？「社会福祉法改正」

特養次長・養護施設長 松岡 利和

「社会福祉法」は戦後に制定された、日本の社会福祉についての法律です。この法律では福祉サービスを担う「社会福祉法人」についても定められています。昨年4月と今年4月との2回にわたって、この法律が大きく改正されました。このことについて解説します。

## 日本の社会福祉事情

我が国は、団塊世代の高齢化で更なる高齢者増が確実なのに、それを支える若い世代や出生数が減少している特殊な人口動態を抱えています。換言すると、労働者数が減少し税収が伸び悩む中、高齢者に関する社会保障費の支出は年々飛躍的に増えていく構造です。様々な節減策を施しても、支出の伸びがすごいので効果は知れています。我が国の予算は約97兆円ですが、うち最も支出が大きいのが社会保障費で32兆円に上ります。一方、無駄遣いのやり玉にあがる公共事業費は6兆円足らずですから、いかに社会保障費が大きな割合を占めているかが見てとれます。

## 社会福祉法人への風当たり

このような折に数年前、「社会福祉法人がお金を溜め込んでいる」という意見が大きく取り上げられました。一般企業でも問題視されることがある「内部留保」のことを批判したのです。社会福祉法人は非営利で、社会福祉事業をおこなう公益性の高い団体です。そのため税制上も優遇され非課税扱いとなっています。法人数は全国で2万を超えており、運営内容も外部からは見えにくく、「溜め込み」の嫌疑を晴らすことは困難でした。ニュースでは時折おかしな支出をしている社会福祉法人が話題になることもあり、国が本腰を入れて改革をすすめたのです。

## 何が変わったのか

この改正では法人の役員体制が規定され、権限・責任を明らかにし外部の役員を必置にするなどして「健全な体制（牽制機能）」が強化されました。また、財務状況などの公表義務で「見える化（事業運営の透明性）」が図られました。更には「お金の使い方（適正かつ公正な支出管理）」も規定されています。ようは福祉事業をおこなう本来の使命から逸脱しないよう、どの法人も一定のルール上を走るよう整備されたのです。加えて当法人の場合は、規模が大きな「特定社会福祉法人」に該当しています。特定の場合は会計のチェックを一層厳しく規定し、大企業などが設置する「会計監査人」が義務付けられています。これは会計処理が適正であることを第三者が証明する機能を有しています。愚痴になりますが、おかげで事務仕事が繁雑になり最も変化を実感している点であります。

## これからどうなるのか

抑止力が強く働くので、簡単にはおかしなことはできなくなります。ただそれはごく一部の法人に対するものであり、ほとんどの法人にとってはこれまで通りに福祉事業を誠実に実施するのみです。当法人も役員構成が変わり、厳しい会計監査を受けていますが、施設でおこなう日ごろの福祉・介護はこれまで通りです。

# 新しい特殊浴槽がやってきました！！

特別養護老人ホーム梅寿荘 入浴委員会 堀本卓史

平成16年度からフル稼働してきた特殊浴槽の老朽化に伴い、梅寿荘では新しい特殊浴槽を検討してきました。ご利用者にとっての快適性、職員にとっての負担軽減の観点から、半年以上かけて機種や室内配置等を吟味しました。

メーカーさんや介護用品販売店の協力の下、平成29年4月9日、新しい特殊浴槽と、シャワーベッドが搬入、設置されました。



## 新しい特浴の主な特徴、メリットとして、以下の点が挙げられます。

①シャワーベッドの幅が広くなり、ご利用者にとっての快適性が高まった。従来よりも安全、快適に側臥位（横向き）で背中部分の洗身ができる。フラットでソフトなベッドマットにより、寝心地も向上した。

②シャワーベッドにしっかりとしたベッド柵があることや、操作ミスに対するセーフティー機能向上、入浴時間表示によるのぼせ予防など、ご利用者にとっての安全対策が向上した。安全機能向上により、介助させていただいている職員の安心感にも繋がっている。

③大きいキャスターによる移動性の向上や、ブレーキ性能の向上、浴槽位置の変更による動線の短縮など、職員の身体負担軽減に貢献してくれている。スライディングシートなど移乗補助の用具についても、より使用しやすくなった。

設置した週に行われた、機器メーカーによる使い方研修では、使用上の留意点はもちろん、よくあるトラブルの対処法や、安全装置の説明、メンテナンス方法等を学びました。

6月には職員の腰痛対策として、作業療法士の辰巳一彦さんを講師に迎え、介護負担軽減のための研修を開催しました。ポディーメカニクスの基礎について学び、実際の介助場面で行う動作についても実習し、入浴介助の場面にも応用できる学びを受けました。基礎的な方法から、応用した技術まで実習させていただき、明日から使える技術を学べ、職員一同、介護技術の研鑽の必要性を感じました。



今後ともご利用者に少しでも喜んでいただけるよう、ハード面の整備と共に、ソフト面である職員のスキル向上についても、より一層励んでいきたいと思っております。

## 施設内イベント&行事紹介

梅寿荘では年間を通して、様々なボランティアさんが来られ、ご利用者と一緒に余暇活動を通して交流を深められています。

5月20日 竿田流津軽三味線島唄バンド「国頭フレンズ」様による慰問演奏会が行われました。「国頭フレンズ」のお二人は、奄美大島出身とのことで、奄美地方の三味線蛇皮線（錦蛇の皮で出来た三味線）を華麗に操り、奄美地方に伝わる島唄や、津軽地方に伝わる津軽5大民謡の一つである「津軽あいや節」などを披露してくださいました。また、アンコールには、「大阪ラブソディー」を披露してくださいました。



(国頭フレンズの演奏会の様子)



また、5月28日には『奈良吹奏楽団』様による慰問演奏会が行われました。

『男はつらいよ』のテーマソングで演奏会の幕が開け、『北島三郎のメドレー』や『北国の春』『津軽海峡冬景色』などの有名な楽曲や『海』『茶摘み』『蛍来い』など懐かしい唱歌メドレーなどが演奏され歌詞を口ずさむ方や、手拍子をとって楽しめる方も多く見られました。『国頭フレンズ』の皆様、『奈良吹奏楽団』の皆様ありがとうございました。

また来年も素敵な演奏を楽しみにしています。



(奈良吹奏楽団の皆さん)



# 七夕会

行事委員 鍋島 孝美

行事委員会の7月の企画として7/6（木）、7/7（金）に七夕会を開催いたしました。近畿大学農学部 of 学生さんにも手伝って頂き大変盛り上がりました。

七夕会のメニューはお好み焼き、串カツ、おにぎり、枝豆、七夕ゼリーです。また、楽しい行事を企画していきますので、お楽しみに！



# 滝寺花祭り ~ 2017.4.23 ~

花祭り実行委員 辻村 万希

4月23日滝寺花祭りが快晴の中、開催されました。花祭りとは、お釈迦様の誕生をお祝いする仏教行事の一つで灌仏会とも言われています。今年は、私は、花祭り実行委員メンバーとして参加させていただき、ステージ企画や準備のお手伝いなど、裏方としての大変さや、不安もありましたが、無事に花祭りを終えることが出来、ホッとしています。

この花祭りには、法人内すべての事業所の方が参加しており、日頃の感謝の気持ちを込めて屋台やドリームシアターなどのステージ企画が披露されました。

第1部では、滝寺の本堂での法要の後、お稚児さんが境内を練り歩き、本堂前の花御堂と当法人の本部前に設置された花御堂に安置された誕生仏に甘茶を掛けてお釈迦さまの誕生をお祝いしました。このお稚児行列の一行は、境内を練り歩いた後、梅寿荘にも巡行に来て下さりました。



第2部のドリームシアターでは、児童部門の職員さんが、昨年流行した「恋ダンス」を踊ったり、高齢者部門の職員さんが合同で、お笑い芸人のモノマネを披露したり、ピコ太郎の「PPAP」を踊ったり、花祭りの締め括りに、会場の皆さんと一緒にゆずの「タッタダンス」を踊り、会場の皆さんと一緒に楽しむことが出来ました。有り難うございました。

# おでかけ日記

養護支援員 木村 記子

初めまして。私は、特養梅寿荘1階事務所奥に位置する「養護老人ホーム」の支援員をしております。宜しくお願いいたします。

私は、ほぼ毎月1回、京都の広沢池付近に在ります「平安郷」という所に行っています。

日本庭園も美しい場所で、映画や時代劇や茶道の番組他でも撮影されたりしています。

そちらへ向かう途中に、西大寺や嵐山、祇園他も通りますが、やはり平日でも、観光客が多く、最近は特に電車やバスを利用する外国の方が増えてきています。その為か、周辺地域やお店も、行く度に何処かしら、新しく変わっています。

これを読んで下さった皆様も、お時間や機会があれば、是非、どうぞ訪れてみてください。



## 梅寿荘「夏祭り」開催！！

今年も恒例となりました「夏祭り」の季節がやって参りました。暑さを忘れるほどに、ご利用者と共に楽しめるお祭りを企画しております。屋台も出店しておりますので、夏のひと時をお楽しみください！！  
8月10日（木） 17:30～19:30  
梅寿荘 1F 地域交流ホール周辺にて  
屋台チケット制、チケット代300円を協力金として戴きます。

## 出店屋台

食事屋台：焼きそば、ねぎ焼き、フランクフルト、かやくご飯、アイスクリーム、栄養課実習生オリジナルデザートなど

遊び屋台：光り物すくい  
皆様のご来場をお待ちしております。

夏祭り実行委員会



## ことぶき第83号 2017年7月14日号

## 編集後記

梅雨明けも間近になり、いよいよ夏本番。いかがお過ごしでしょうか？私は、昨年度に引き続き広報委員長を務めさせていただくことになりました。辻村 万希です。

4月より、新しいメンバーも加わり、季刊紙の作成を中心に広報委員活動を頑張っていると思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。まだまだ未熟なところもありますが、沢山の人達に梅寿荘での活動や楽しさを伝えることが出来ればと思います。Facebook や Instagram も随時更新しております。感想やご意見などあれば、広報委員までお気軽にお声掛けください。

広報委員会：木村（養護） 田中（さざんか・すいせん） 荒瀬（あじさい・ひまわり）  
今中（パンジー・コスモス） 辻村（サルビア・カトリア）



興正菩薩坐像